



題字は松井岳洋筆

詩吟雑感

監事 森 岳 靚

数年前総本部主催の記念大会に参加した際御来賓の他流派の会長が式典の挨拶の中で、詩吟には、文学性、芸術性、音楽性、歴史性、推理性の要素を持っていると云うお話があったのが心に残っています。私達はこんなに多様性のある詩吟を日々勉強しています。



漢詩は、世界最高の詩歌であり芸術品であるといわれています。

現代詩にはないリズムがあり、漢字は一字一字の意味を持ちそれが組み合わされ交じりあつて詩心の世界へと入ってゆきます。平常心で無心で吟ずることが出来ず、吟じ終わって清風起きるとはゆきませんが、生涯学習の一端として詩歌を学び豊かな心で楽しく健康でお稽古に励みたいものです。

No.421

平成 25 年 11 月

発行 (公社) 日本詩吟学院 認可 碩心会

発行者 内山岳青 編集者 伊藤岳光

神奈川県藤沢市辻堂東海岸 1-7-28 Tel/Fax. 0466-33-2228

URL http://sekishin.hoiy.jp

さて、逗子地区では毎年逗子文化祭に参加しています。各種催し物に市からアンケート用紙が配られ入場者に記入していただいています。昨年の集計によりますと詩吟詩舞の回収率が低く「若い人の参加が少なく、せつかくの行事も年寄りの集まりにしかならない」と書かれていました。少年少女にも出吟参加していただいています。少年少女にも出吟参加していただいても多くの人にご来場をと願っています。つぎに、監査の仕事ですが、年二回の経理部審査業務部、教務部の会計監査と業務監査を毎月開催されている常任理事会に年二回出席し、会長からは総本部、神静地区、相州岳風連合等の情報報告と各部長、地区長の業務経過等をうけています。少ない予算の中で碩心会の運営に、会員増強にとお茶も出ない会議で「苦労いただき頭がさがる思いで出席しています。皆様感謝いたします。そして行事には、なるべく参加いたしましょう。」

行事予定

碩心会皆伝会

日時・12月7日(土) 開会10時

場所・葉山港管理事務所3階会議室

レツツ詩吟

日時・12月14日(土)午後1時~2時30分

場所・葉山町立図書館ホール

碩心会初吟会

日時・2月2日(日) 開会10時

場所・葉山町福祉文化会館ホール

第2回尚齒会全国吟道大会

日時・3月27日(木)

場所・日本教育会館

★平成25年度功労者表彰

功労者の部 森 岳靚

ボランティアの部 加藤 岳美

寿九十歳の部 杉山 岳雪

昇伝段位認許

(平成25年10月1日付)

少年 3名

167松浦みづき(少四段) 180吉田朋之進(少六級)

181島袋泰成(少七級)

初段 6名

195櫻井延支子 198馬場奎子 201中島千津子

203野村京子 206井上裕之 213小金井敏幸

二段 7名

186 小俣信子 194 本多ミイ 196 新井洋子
195 山田眞佐子 199 伊藤友子 200 片桐泰子
208 寺山則子

初伝 3名

191 永田穂泉 192 金澤正泉 193 津呂知泉

三段 3名

177 吉田桜泉 185 伊藤洋泉 187 山口青泉

四段 5名

175 泉谷鐵泉 176 馬場香泉 178 加藤典泉
179 田嶋明泉 182 亀井水泉

中伝 2名

164 井戸田喜山 209 神山功山

平成25年度秋季審査会

篁風支部 泉 谷 鐵 泉

9月28日(土)秋季審査会が葉山町福祉文化会館で行われました。当日は秋晴れの晴天に恵まれ、私達篁風支部小和田教場の午前の部受審者4名は、車で会場に向かいました。

私にとつては5回目、四段受審となり受付で受審表のふり仮名記入漏れを繰り返す等、高齢ボケかと自分に緊張感と気合を入れ直しての受審でした。冒頭の青少年3名の迫力ある素晴らしい吟に圧倒されました。発表前の控え椅子席では、前者の吟を聞くと自分の吟が不安に感

五段 3名

156 中山辰山 157 村上遙山 158 岩崎健山
六段 4名

148 森 祐山 149 森 晶山 150 照沼夏山
151 山下友山

奥伝 2名

135 植草眞風 136 一戸清風

七段 2名

122 田邊隋風 123 乗松力風

八段 2名

115 佐藤節風 116 高橋陽風

正師範 (平成25年9月20日付)

84 行谷隆岳

じ、平常心にと腹式呼吸をしてみても落ち着きません。

いよいよ自分の番となり、マイクに向かい稽古どりの動作と課題吟を緊張の内にも無心に吟じ、精一杯の発声が出来たつもりです。

終わった後は脱力感と満足感の入り混じった複雑な気持ちです。

午前の部終了講評では、発声、音程、発音詩心の表現等、基本的な事についてアドバイスを頂きました。後期高齢の私にとりましてはこの様な受審や各種大会への参加がほげ防止と健康維持に繋がると信じ、仲間と楽しみながら吟道に精進したいと思えます。

年輪の響き

尚齒会神奈川大会(9月17日)

紫陽花支部 中山 辰山

尚齒会の何たるやも知らず、先生に言われるまま神奈川公会堂に赴きましたが、いつもの大会より高齢の方が多いようだと感じながらの開会となりました。

碩心会からは独吟5題(男性)、合吟男女各1題の出吟で、小生の勉強不足を除けば、皆さん方の堂々とした吟詠は碩心会の名を必ずや高めたものと確信しています。全部で134題のロングラン560のキャバは満席と言う盛大な大会でありました。

例により初級者からの吟となりましたが、独吟のトリは女性でした96才とのアナウンスがあると会場はウワーとどよめき、その吟の若々しさ、その吟の説得力は聞く人の感動を呼び、二度三度もの拍手の渦、老齡パワーの活気で一気に盛り上がりました。尚齒会の何たるやを納得した思いでした。

本部長事務長の挨拶に「人生経験、社会体験を積んできた人の吟には年輪の響きがあるとありましたが、小生もノンポリで過ごした70数年でありましたが、俺はまだ若い、吟に定年なし、明日を頑張ろうと……パワーを充電できた良い一日となりました。

詩吟と私

東伏見支部 大野 祥 岳

友人よりお誘いがあった。「碩心会」に入門してから15年。戴いた許證もいつのまにか12枚となった。

最初に指導頂いた吟が「海南行」。五線に音符の「楽譜」に代る「吟符」に先ず戸惑ったことを懐かしく思い出す。

詩吟のお蔭でそれ迄にない新しい世界を経験する事となった。教場では詩歌の生まれた実際の舞台を訪ねて内容の理解を一層深め吟力を磨く「吟行」が度々あった。

諏訪市地藏寺山の木村岳風租宗範の墓所に詣で、記念館・生家で偉業の数々に触れる事の出来たこと。会津飯盛山で十有九士の墓前で「白虎隊」を献吟したところ「私も詩吟を嗜む」と云う方から声が掛かり、初対面ながら吟を通じて交歓したこと等々。

又、審査課題吟「鎌倉懐古」にある「東御門」「西御門」の東方、源頼朝の墓所近くに「芸州毛利家」「薩州島津家」の租の墓があるが、両家が元々鎌倉から発した事を知るに及び歴史への興味も一味違ったものになる。之も詩吟からの余縁である。

加えて、腹式呼吸により腹から声を出す事を教えられ、之は吟詠に限らず己の健康にも役立つ事を学んだ。

時々挫折しそうになるが、詩吟との付き合いを之からも一層大事にして行きたい。

新総伝祝賀会

真澄支部 福本 岳 香

この度は新総伝祝賀会を催して頂き、その席で色紙を頂き私の一生の思い出となります。

入会当時正月の逗子の浜で亡き松井先生他会員の方々と幟旗を掲げて吟じたこと、吟行会では木村岳風先生の墓苑地藏寺墓参、北海道、青森、山形と全国大会を兼ねての旅行、宇都宮先生が真澄支部の会詩を作って下さり楽しかった思い出が脳裏をかすめます。皆様のお蔭で長く稽古が続けられ感謝の念で一杯でございます。有難うございました。

渚支部 原田 岳 義

平成25年7月10日付、私原田岳義は総伝の認許を受け心より感謝申し上げます。碩心会の重さを強く心に感じ尚一層の努力を致す所存です。又総伝者に恥ぬよう吟道に勤めたいと思えます。今私があるのも各会員の皆様の応援と諸先輩のご指導を頂き、これより益々の努力をして参りたいです。有難うございました。

渚の坂支部 沼田 岳 東

この度、総伝位を授与され素直に喜んでいますが、雅号も少し変わりました。しかし私自身の生活・吟の修練等には、何の変化もありません。それでも毎年一つ年号が増す事は避けられず、気力・体力が続く限りはと、声を出す練習は続けるつもりで頑張ります。

碩心会の皆様、今後とも相変わらず、よろしく願います。



平成25年 碩心会 新総伝者を祝う会 H25.10.31 於 葉山港管理事務所

真澄支部創立35周年を迎えて

真澄支部 吉原 益風

台風一過の朝、爽やかな青空、細波立つ七里ヶ浜の蒼い海のもとに「碩心会真澄支部創立35周年記念吟の集い」が鎌倉プリンスホテルに於いて去る10月3日開催されました。

お客様は「真澄支部の詩」を作詩された宇都宮岳徳先生、内山岳青会長他諸先生方をご招待して、村田岳瀨先生、生徒28名の参加で行われました。会は「碩心会の詩」「真澄支部の詩」を合吟し時間が進むと共に張り詰めていた緊張感も徐々にとれリラククスして個々学習成果を舞と共に発表できました。

その後、ご招待した諸先生方からは素晴らしいお祝いのお言葉と模範吟を吟じていただき私達もおおいに勉強させて頂きました。

午後からは懇親会になり、和気あいあいと支部発足から35年と云う長く貴重な年月の思い出にひたりつつ、次の40周年につなぐべく意気込みを覚えました。

- ⑤ 前を見つめて元気に
- ④ すすんで行こう
- ③ 未来に向かって(40周年)
- ② 詩吟吟詠の道を
- ① 部員一同

現代名吟鑑賞会

副会長 磯村 岳朋

去る11月1日(金)古典の日にふさわしい鑑賞会が、日本教育会館一ツ橋ホールに於いて開催された。

まず10名の名吟家を表彰する式典から始まった。中央に、掛け軸1本下がり「順気成象」の書。10名の名吟家は、次の通りです。

大山岳荘・片島岳穂・河野岳景・郡山岳昌・榊原岳水・鈴木岳禪・田中岳籐・濱岳優・吉岡岳東・吉野岳黄。(敬称略)

司会は、木部岳圭理事長。

第1部は「高山流水」の掛け軸が右に下がり、第2部は、「水留長吟」として木部理事長の伴吟で、剣舞が舞われた。

長吟で正確を欠くと司会者が「やり直し」の一言で、吟者は、素直にに応じて。何度もやり直しが続いたが、最後は、立派な吟に。独特の間を作る先生や、短歌あり俳諧歌あり、究極の極みでした。

終りに、理事長が収益の一部を吟道会館建設に充てるとのことでした。



会員のうごき

※入会 (10月1日付)

222 三並 哲治 (渚) 紹介者 原田岳義
逗子市逗子 6-4-9-102
☎ 046-872-2707

223 結城 正吾 (渚) 紹介者 原田岳義
逗子市桜山 5-44-15
☎ 046-873-9001

224 岩田 文男 (渚) 紹介者 原田岳義
逗子市久木 8-23-2
☎ 046-871-9445

※入会 (11月1日付)

225 鈴木 実 (渚) 紹介者 原田岳義
逗子市久木 3-5-5
☎ 046-873-1536

※退会
161 畠山武雄(長柄) 217 田口正治(東伏見)
218 田口智也(東伏見)

※支部長変更
一色支部 角田 岳久 → 小菅 岳倅

編集後記

過日行った「碩心」及び「ホームページ」に関するアンケート調査の結果を120号に載せましたが如何でしたか。ご意見、ご感想を広報部までお寄せ下さい。

日本列島を何度も襲った台風、秋冷を感じる間もなく冬がやってくる気配。健康に留意し詩吟活動に励みましよう。 広報部

25年11月1日現在	会員数
葉山地区	78名
逗子地区	120名
合計	198名